

我が社の アイデアママン

横須賀の久里浜から千葉房 5万人の乗船客があったが、総半島の金谷までを結ぶ貨客 アクアラインが値下げするにフェリーを運航。定期便の つれ減少。寺元さんが出向先他、「船上お見合い」や観光 の子会社から戻ってきた8年地とタイアップした「格安モ ニターツアー」など、ユニークなクルーズ企 画で注目を集める。

高速道路開通前の半数以下まで乗客数が激減

しかし、一時期は経営の危 機に直面していた。「アレの おかげです」と寺元さん。1 997年に川崎と木更津を結 んだ「東京湾アクアライン」 のことだ。開通前は年間21

船上お見合いパーティーが大ウケ

運営など商売の厳しさを肌で 感じていた私の目には「危機 的状況」に映りました」

まず手掛けたのは、寄港地 である金谷の観光地化だ。

「目的が魅力的じゃなければ 船に乗ってくれませんから ね」

自治体と協力し、夕日の美 しい岬にチャペルのようなモ ニュメントを建て、「恋人た ちの聖地」と銘打った。それ が定着したのを見計らい、5 年半ほど前に第1回の「ふね コン」(船上コンパ)を開 催。独身の男女がフェリーで 船上パーティーを楽しんだ 後、金谷の恋人の聖地で、告 白

「白」を行うというものだ。こ れが大盛況。マスコミにも取 り上げられ、現在も続く人気 イベントに。

「こだわっているのがカッ プルの成立率です。船に乗せた ら、後はご自由に」じゃ無責 任。あの手この手で盛り上げ て、成立率3割以上を維持し ています」

続いて目をつけたのがバイ クや自転車といった「二輪 車」の愛好家だ。

「全体の乗客数は厳しい状態 なのに二輪車に限ってはこの 20年、微増を続けています。房 総半島はツーリングの聖地。 そこへ向かう自転車やバイク の利用者にとって、フェリー は貴重な「足」なんです」

「こだわっているのはカップル成立率。 あの手この手で盛り上げ、平均で 3割以上を維持しています」

3年前から始めたのが「サ イクリングモニターツアー」。 大勢のサイクリストを久里浜 港から大型フェリーに自転車 ごと乗せ、房総半島で1日ツ ーリングを楽しんでもらおう というもの。これも大盛況 で、「現地の自治体の補助で 参加費を安くする代わり、一

前途洋々に見えるが、「こ ろしたイベント船による、定 期外収入」は全体の1割にも 満たない。もっと大勢の人が 船に乗りたくなるような工夫 をしていかないと」と襟を正 す。ただ、追い風が吹いてい るのも実感。

東京湾フェリー株式会社 寺元 敏光さん 52歳



二輪愛好者のハートもわしづかみ

「行きはアクアラインでも、 帰りはフェリーでというお客 さまが増えていきますね。ま た、お正月だけはフェリーで 帰るのが楽しみという家族 も。船に乗ることはひとつの アトラクション。効率一辺倒 ではなく、時間を楽しもう、 という心の余裕がある人が増 えているように感じます」